

令和5年度 第11回 県政モニター調査結果

農政課かごしまの食輸出・ブランド戦略室
(099-286-3194)

○テーマ 「食生活と食育」について

○調査目的 県民の皆様の「食」に対する意識や食生活の実態を把握し、今後の食育等の推進に関する施策の参考とするものです。

※ 県では、県民の皆様の地産地消を基本とした健康で豊かな食生活の実現を図るため、令和3年3月に策定した「かごしまの“食”交流推進計画(第4次)」に基づき各般の取組を進めています。

○調査期間 令和6年1月

○調査対象 200人

○回答者数 155人(77.5%)

[注] 割合(%)は、選択者数÷回答者数(155人)×100で計算しています(問6を除く)。

また、小数点第1位で四捨五入しており、その和は100%にならない場合があります。

問1 あなたは、食育に関心がありますか。

(全員:単数回答)

	人数(人)	割合(%)
1 関心がある	96	62%
2 どちらかといえば関心がある	49	32%
3 どちらかといえば関心がない	6	4%
4 関心がない	2	1%
5 分からない	2	1%

問2 あなたの食生活において、主食、主菜、副菜を基本にバランスのよい食事がとれていますか。

(全員:単数回答)

	人数(人)	割合(%)
1 実践できている	21	14%
2 おおむね実践できている	94	61%
3 あまり実践できていない	36	23%
4 全く実践できていない	4	3%

問3 あなたは、食事や買い物等の際、意識して県内で生産された農林水産物や食品を購入していますか。

(全員:単数回答)

	人数(人)	割合(%)
1 いつも意識して購入するようにしている	71	46%
2 ときどき県内産を購入している	53	34%
3 県内産・県外産を意識して購入していない	23	15%
4 自分で購入する機会がない(家族等が活購入している)	8	5%

問4 あなたは、地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や、箸(はし)づかい・作法等について、何か教わったものがありますか。それは誰から教わりましたか。

① 教わった伝統的な料理がありますか。

(全員:複数回答)	人数(人)	割合(%)
1 がね	85	55%
2 とんこつ	75	48%
3 豚汁	101	65%
4 つけあげ	57	37%
5 あくまき	58	37%
6 その他	37	24%
7 教わっていない	19	12%

(かからん団子, 鶏飯, ふくれ菓子, ねったぼ, 豚味噌等)

② 教わった作法等がありますか。

(全員:複数回答)	人数(人)	割合(%)
1 箸づかい	123	79%
2 食事のマナー	105	68%
3 食事のあいさつ	106	68%
4 その他	10	6%
5 教わっていない	17	11%

(正座, 姿勢, 残食しない 等)

③ 教わったものがある方に伺います。誰から教わりましたか。

(複数回答)	人数(人)	割合(%)
1 父母	137	88%
2 祖父母	76	49%
3 姉妹・兄弟	12	8%
4 学校等の先生	34	22%
5 その他	14	9%

(職場, 書籍, 料理教室 等)

問5 あなたは、地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や、箸(はし)づかい・作法等について、地域や次世代の若者(子どもやお孫さんを含む)に対して、何か伝えているものがありますか。

① 伝えた伝統的な料理がありますか。

(全員:複数回答)	人数(人)	割合(%)
1 がね	54	35%
2 とんこつ	47	30%
3 豚汁	70	45%
4 豚汁	39	25%
5 あくまき	42	27%
6 その他	19	12%
7 伝えていない	52	34%

(鶏飯, ふくれ菓子, ねったぼ 等)

② 伝えた作法等がありますか。

(全員:複数回答)	人数(人)	割合(%)
1 箸づかい	98	63%
2 食事のマナー	96	62%
3 食事のあいさつ	100	65%
4 その他	7	5%
5 伝えていない	26	17%

(姿勢,咀嚼音をたてないで食べる 等)

③ 伝えたものがある方に伺います。誰に伝えましたか。

(複数回答)	人数(人)	割合(%)
1 自分子ども	118	76%
2 自分の孫	45	29%
3 姉妹・兄弟	10	6%
4 地域子ども	29	19%
5 その他	14	9%

(甥姪,地域の方等)

問6 食品の表示について伺います。

① 食品(農産物を含む)に「栄養機能」や「機能性」の表示ができる制度があることを知っていますか。

「栄養機能表示」(全員:単数回答) ※未回答者11人	人数(人)	割合(%)
1 よく知っている	39	27%
2 聞いたことがある	77	53%
3 知らない	28	19%

「機能性表示」(全員:単数回答) ※未回答者11人	人数(人)	割合(%)
1 よく知っている	32	22%
2 聞いたことがある	79	55%
3 知らない	33	23%

② 農産物のパッケージに「栄養機能」や「機能性」の表示があれば購入したいですか。

(全員:単数回答) ※未回答者11人	人数(人)	割合(%)
1 積極的に購入したい	40	28%
2 試してみたい	50	35%
3 価格が同等なら購入したい	41	28%
4 購入したくない	0	0%
5 わからない	9	6%
6 その他	4	3%

③ 上記②で1, 2, 3を選んだ方に伺います。その理由は何ですか。

(複数回答)	人数(人)	割合(%)
1 身体に良さそう	99	69%
2 サプリメント等より取り入れやすい	21	15%
3 科学的な根拠がある	63	44%
4 健康でいたい	75	52%
5 表示があると良い農産物のように感じる	65	45%
6 その他	2	1%

表示で確認できると安心するから、体がだるいから等

④ 上記②で4を選んだ方に伺います。その理由は何ですか。

- ・ 常に健康(運動・食事)について意識する事を心掛けているから 等

問7 食育について、あなたのご意見をお聞かせ下さい。

<食生活において取り組んでいること>

- ・ 季節に応じた食生活が重要と感じます。生産者の声や大事にしていることも知りながら、食材を購入、調理したいと思います。食事と文化との融合を語り継ぎたい。
- ・ 鹿児島物は身体に良い食材が揃っているので、出来るだけ地産地消で鹿児島の物を購入するようにしています。また、農家さんから直接搬入された野菜類を買う事もよくあり、物産館にも行きます。
- ・ 健康に繋がるバランスの良い食生活を目指し、旬のものなども取り入れて栄養バランスを幅広く整えたい。

<食の伝承>

- ・ 家庭では伝統的な料理を教わる時間がないため、地域のコミュニティ(料理教室)などに参加して子供達につないでいきたい。
- ・ 子供の頃に食べた、祖母や母が食べさせてくれた郷土の料理を自分でも作れるようになりたいと思っています。今回同封された「かごしまの味」の冊子も大変興味深く拝読いたしました。

<子どもたちの食育, 学校給食等>

- ・ 子供の小学校でも地元産のものを使った給食が出てくるようです。町ぐるみで食育に取り組んでいるのはとても良いことだと思います。体験活動を通じて色の大切さも経験しているようです。小さい頃からの食育は大人になっても食のありがたさを感じられると思うので続けてほしいです。
- ・ 学校給食センターと協力して食育を推進しています。地産地消、作り手と使い手、食べる人で距離を短くすることが大切だと思います。生産者、調理者、消費者の物理的・心の距離が大切で顔が見えるような取組をしたい、してほしい。

<施策等への提案>

- ・ 食育は人間が幸せに生きるための最も大切な基礎をなす部分であり、特に小学校、中学校教育において多くの時間をかけて「料理教室」「地産地消」「食と健康」「食と体」等について教えることが大切です。行政においても教育委員会、健康増進課、農林水産課など多くの課で食育を推進しておりますが、孤食、食生活の乱れなど社会問題となっております。引き続き県の重要施策として推進をお願いします。
- ・ 食育は非常に重要なことだと認識しています。地産地消と魚食普及など課題は山ほどあると思います。予算をつくって鹿児島らしい教育を小さい頃から目指してほしい。
- ・ 食育は人の健康や本位・体力にかかわる重要な知識を提供するとともに、我国の農業や食品産業に係る現状を理解するための重要な取り組みだと考えております。今後ともその普及、啓発をお願いしたい。
- ・ 食育を推進する人材の育成と場を作ってほしい。